



自立と共生



※今月の題字は2年AKさんの作品です。

共生は“違い”から始まる

校長 生田目 将

日頃より本校教育活動に対しまして、ご理解ご協力に感謝いたします。

さて、今回は教育目標の共生について考えました。実際にこれを体現していくことは大人でも容易ではないことだと思います。一般社会同様に子どもたちが集う学校という集団生活の場でも、「皆と同じであること」が安心や秩序を保つ手段になりがちで、「違い」が見過ごされたり、時に疎外感を生んだりすることもあります。そして、それは“アンコンシャス・バイアス”（無意識の思い込みや偏見）と言われるものに陥ることがあります。

しかし、本来の共生とは、「違いを認め合い、活かし合う」ことにあります。そして、それは教育が果たすべき重要な使命の一つと考えるからこそ、本校の教育目標に大きく位置付けられています。

和田中学校では、日常的に「違い」を大切にする場面が多くあります。文化祭や体育大会、合唱祭といった行事では、個性や得意不得意、立場の違う仲間とともに一つの目標を目指します。その過程では、意見の衝突や、価値観の違いによる戸惑いが生まれることがありますが、そうした葛藤を乗り越えることこそ、共生の学びなのです。「あの人は自分と違う」ことを否定ではなく前提として受け入れ、「違うからこそ面白い」と感じられる心を育てることが、共に生きる力を育む第一歩となります。さらに、一人一人が輝く場面も意図的に各自が作っていけたらいいですね。

今の子どもたちは、デジタル空間で情報を得ることには慣れてきている反面、異なる立場の人とじっくり対話を重ねる経験が乏しくなりつつあります。人と違うことを恐れ、目立たないようにする傾向もあるかもしれません。しかし、社会はすでに「一様な人間の集団」ではなく、多様な背景・価値観をもつ人々が共に生きる場となっています。学校はその縮図であり、だからこそ、学校での共生の経験は、子どもたちの将来にとってかけがえのない財産になるのです。

和田中のPTA活動においては、異なる立場の保護者同士が協力し合うことで、学校との強い連携が生まれ、素敵な活動を体現していただいている。保護者と教職員、地域と学校、異なる立場の人々が対話しながら同じ目標に向かっていく姿勢は、生徒の手本でもあります。

共生は、違いから逃げないこと。違いを認め、互いに尊重し、時に歩み寄る努力を重ねること。生徒一人ひとりがその力を身に付けていけるよう、子どもたちとともに私たちも学び考え続けていかなければならぬと思います。

和田中学校の様子

部活動

部活動では、新チームがデビューしています。今まで受け継がれてきた和田中の良い伝統を引き継いでいきます。



ENT NEXT Class

DJ KOOさんをお招きしたENT NEXT Classでは、大いに盛り上がるなか、将来についていろいろと考えることができました。



小学生体験授業

小学生体験授業では、先生方が様々な授業を準備していました。和田中学校の魅力は伝わったでしょうか？



修学旅行

奈良・京都を巡った修学旅行は、学習をはじめとして、様々な意味で中学校生活の集大成です。教職員一同、生徒の大きな成長を感じることができました。

表 章

○多摩市陸上競技記録会

男子中学共通200m	第4位 SY (3年)	第5位 TI (3年)
男子中学共通400m	第1位 TI (3年)	
男子中学共通800m	第5位 HA (2年)	
男子中学共通3000m	第2位 MT (3年)	
男子中学3年100m	第3位 SY	第6位 OK
男子中学3年走幅跳	第2位 KK	
女子中学3年走高跳	第1位 TT	
男子中学2年1500m	第8位 OH	
男子中学2年4×100m	第2位 OH・KT・HO・YS	
女子中学2年4×100m	第5位 OK・TT・FR・YH	
女子中学1・2年800m	第1位 TT (2年)	第5位 MY (1年)
	第8位 YH (2年)	
女子中学1・2年走幅跳	第7位 HY (2年)	
男子中学1年 100m	第8位 KM	

○第38回中毛ブロック大会(空手) 準優勝 IY (3年)

○第73回東京都中学校学年別水泳競技大会

女子200m個人メドレー	第1位 MY (3年)
女子400m自由形	第4位 SN (1年)

行事予定

10/17 (金)	キャリア教育 (3年)	28 (火)	職場体験 (~30 (木) : 2年)
10/20 (月)	生徒会朝礼	4 (火)	全校朝礼
10/21 (火)	音楽発表会 (パルテノン多摩)	5 (水)	午前授業 (給食あり)
24 (金)	三者面談始 (~31 (金) : 3年)	12 (水)	第3回定期考查 (~14 (金))